

# あさひ・いのちの森 概要 I

所在地：静岡県富士市鮫島2番地の1

旭化成株式会社 富士支社

面積：10,570㎡【あさひ・いのちの森】

(富士支社全体562,000㎡)

標高：4～9m

設置日(植樹祭)：2007年5月20日

■生育する植物相

287種(2010年)、300種(2016年)

■生息する昆虫相

416種(2010年)、437種(2015年)

■包含する植生

自然林

(ヤブコウジースダジイ群集ほか)

里山林

(ムクノキーエノキ群集ほか)

二次草原

(トダシバーススキ群集)

湿原

(ウキヤガラマコモ群集ほか)

流れ・池

(コウホネ群落)



# あさひ・いのちの森 概要Ⅱ



# あさひ・いのちの森 概要Ⅲ

## 「あさひ・いのちの森」構内図(スケール)

計画平面図：森は大きく6つのゾーンに分かれています

- 自然林
- 里山林
- 草地
- 湿地
- 田んぼ
- 流れ・池

### 湿地

希少種の生育地として知られる富士市の浮島ヶ原の低湿湿原を目標として、その土をもらい受けました。水位を管理し地域固有の湿原の再生を目指しています。

### 草地

古くから茅葺き屋根の材料などとして採草地に使われた「カヤト原」を再生します。ススキが自然に定着するのを待ち、草刈りなどの管理を行います。昆虫類の生育空間・移動経路であると同時に、森を訪れる人の憩いの場でもあります。

### 里山林

古来から人間と自然が折り合い豊かな動植物を育ててきた雑木林です。田子の浦に見られるムクノキ・エノキ林にコナラなどの雑木林の樹種を加えた夏緑広葉樹林です。植樹後も定期的な管理を加え、人と自然が交わる多様な生物の生息・生育環境を創出します。

### 田んぼ

里の中心となる田んぼは「収穫のあるビオトープ」の試みです。稲作を行いながら生きものの生息空間となる良好な水辺環境を創出します。稲作は無農薬、昔ながらの手作業で行います。

### 流れ・池

ホタルや水生の生き物の生息する環境を整備し、社員だけでなく地元の方も楽しめる地域交流の場として設計しました。

### 自然林

潜在自然植生\*1を再生するゾーン。周辺地区の現存植生の現地調査に基づいた植樹構成で、スダジイやタブノキからなる常緑広葉樹林を再生します。

\*1 潜在自然植生：人が一切の干渉を停止した時、その土地が支えることのできる自然植生

